

2021年12月24日

## 事業承継ファンド「京都想いをつなぐファンド」投資実行のお知らせ ～ファンドを活用し京都の伝統産業の事業承継をサポートしました～

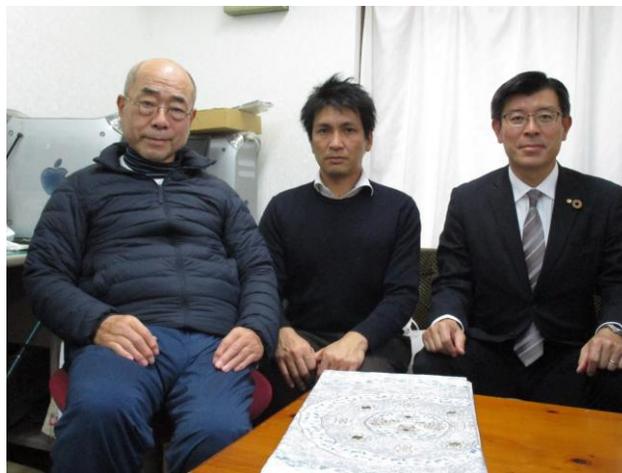


京都中央信用金庫（理事長 白波瀬 誠、以下当金庫）が、京都信用金庫、京都北都信用金庫、京都信用保証協会、フューチャーベンチャーキャピタル株式会社と共同で設立した京都想いをつなぐ投資事業有限責任組合（京都想いをつなぐファンド、以下当ファンド）は、親族外社内承継を行う株式会社藤彩芸（以下同社）に、投資実行いたしましたので、お知らせします。当ファンドは、事業承継に課題を持つ地元企業を資金面のみならず、当ファンド組合員による継続した事業支援で円滑な事業承継のサポートを総合的に行っています。当金庫は、今後も地域金融機関として地域経済、伝統産業の発展に貢献すべく金融サービスの提供とあわせて、地域活性化を進めてまいります。

### ○投資先企業の概要

企業名	株式会社 藤彩芸
代表者	代表取締役 藤本隆士
所在地	京都市左京区一乗寺塚本町64番地
事業内容	手描き染色加工業 独自の柔軟技術を用いて加工した螺鈿(※)を装飾した着物、帯、袷裃等を主に取扱う。
設立	1981年5月法人設立(1978年2月創業)

(※) 螺鈿(らでん)とは、伝統工芸品に対する装飾技法（またはこの技法を用いた工芸品）。素材は貝殻を用いて、虹色光沢を特徴とした装飾を施す。螺は貝、鈿はちりばめを意味する。着物、帯、袷裃等に対する装飾が同社の特徴となっている。



(左)現代表者 藤本隆士氏 (中央)新代表者 太田泰朗氏 (右)当金庫一乗寺支店支店長 奥田尚登

## ○投資経緯について

同社は1981年設立の和装染色加工業者で、特に螺鈿を用いた加工技術は、京都の伝統産業として高く評価されています。しかしながら近時、この技術を保有する企業が僅かとなる中、同社が親族外での社内承継で伝統産業を継承することとなり、当金庫は承継計画策定、承継資金等を、当ファンドを活用することで支援しました。

## ○当ファンドの概要（参考）

名 称	京都想いをつなぐファンド（京都想いをつなぐ投資事業有限責任組合）
ファンド総額	330百万円
設 立 日	2020年1月29日
運 用 期 間	10年（最長2年間の延長が可能）
組 合 員	京都中央信用金庫 京都信用金庫 京都北都信用金庫 京都信用保証協会 フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
投 資 対 象	各有限責任組合員の営業エリア内に本社または事業所を有する 中小企業者